


評価対象年度	平成24年度	<h1>施策評価シート</h1>	政策	11	施策	28
施策名	28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進		施策担当 部局	環境生活部, 農林水産部		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	11 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	評価担当 部局 (作成担当 課室)	環境生活部 (循環型社会推進課)		

施策の目的 (目標とする宮城の姿)	○ 資源循環の重要性や3R(発生抑制・再使用・再生利用)の意識が県民や事業者に浸透し、ごみをできるだけ出さない生活様式、環境に配慮した購買行動が定着している。 ○ 環境・エネルギーに配慮した製品設計(DfE)や製品の環境負荷の総合評価(LCA)に取り組む企業が増加している。 ○ 廃棄物等の再資源化が促進され、廃棄物の最終処分量が減少するとともに、排出事業者責任の意識が高まり、優良な処理業者による廃棄物処理が進んでいる。 ○ 廃棄物の不適正処理が着実に減少するとともに、廃棄物処理に対する住民理解が促進され、県内において必要な廃棄物処理施設が確保されている。	
施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	◇ 様々な場面における3R活動を推進するための県民・事業者・市町村等に対する啓発活動を充実する。 ◇ 日常生活や事業活動における廃棄物の発生抑制、再資源化等を促進する。 ◇ 製品の製造、流通から廃棄までの各段階やサービスの提供に伴う環境負荷低減を促進する。 ◇ リサイクル施設の整備など3Rを支える社会的基盤を充実するとともに、リサイクル関連新技術の開発・普及を促進する。 ◇ 廃棄物の適正処理の推進のための排出事業者等の意識醸成や県民の理解協力の促進と不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導を強化する。 ◇ 産業廃棄物処理に関する情報公開の促進などによる透明性の確保に努める。	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	50,974,717	116,192,477	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標指標等	■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」					
	■達成率(%) フロー型: 実績値 / 目標値 ストック型: (実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)					
		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
1	県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量(g/人・日)	1,066g/人・日 (平成19年度)	979g/人・日 (平成23年度)	1,035g/人・日 (平成23年度)	C 35.6%	955g/人・日 (平成25年度)
2	一般廃棄物リサイクル率(%)	24.0% (平成19年度)	27.8% (平成23年度)	24.6% (平成23年度)	B 88.5%	28.9% (平成25年度)
3	産業廃棄物排出量(千トン)	11,172千トン (平成19年度)	11,342千トン (平成23年度)	9,958千トン (平成23年度)	A 100%以上	11,396千トン (平成25年度)
4	産業廃棄物リサイクル率(%)	29.9% (平成19年度)	30.1% (平成23年度)	42.1% (平成23年度)	A 139.9%	30.5% (平成25年度)

■ 施策評価（原案）	概ね順調
-------------------	------

評価の理由	
目標指標等	・平成23年度の実績値は、4つの目標指標のうち一般廃棄物に係る指標（県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量(g/人・日)及び一般廃棄物リサイクル率(%)は、震災の影響により目標値を達成していないが、産業廃棄物に係る指標については、計画期間の目標値を満足している。
県民意識	・平成24年県民意識調査の結果からは、「廃棄物の適正処理」を重視している割合は、沿岸部で88.8%、内陸部で、85.1%、県全体では86.7%となっており、また、「さらに力を入れる必要がある」と回答する人の割合は、県全体で15.0%であった。（※人と自然が調和した美しく安全な県土づくりの項目で、最も割合が高かったのは、「豊かな自然環境、生活環境の保全」の18.6%）
社会経済情勢	・平成23年の震災により、県民の生活環境や産業構造に大きな変化が生じているほか、外国為替や株価などの経済指標が改善していることから、産業活動の活発化や県民の消費意欲の向上が見込まれ、廃棄物の種類や排出量が大きく変動することが予想される。
事業の成果等	・平成23年度の目標指標等の実績値については、一般廃棄物に係る指標については、震災の影響により目標を達成していないものの産業廃棄物に関する指標については目標を大きく上回っており、また、平成24年度に実施したすべての事業の実績において3Rの進展に成果をあげている。

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・震災等により、停滞していた経済活動が活発となることにより、産業廃棄物の排出量の増加が見込まれるため、被災した中間処理施設の復旧支援を引き続き進める必要がある。 ・震災の影響により一般廃棄物の発生量は増加しており、県民の3Rに対する意識の啓発や市町村の各種取り組みの支援を継続する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ産業廃棄物3R等推進設備整備事業」など産業廃棄物の発生抑制及び再資源化等推進に関する事業等の活用を促進するため、環境関連企業に対してさらなる啓発・支援を行い、循環型社会の実現を目指す。 ・「3R推進ラジオCM」などの普及啓発や市町村3R連絡会議の開催などの市町村の3R施策充実を目的とした「市町村3R連携事業」などを活用し、課題解決に向けた事業を進める市町村を支援していく。

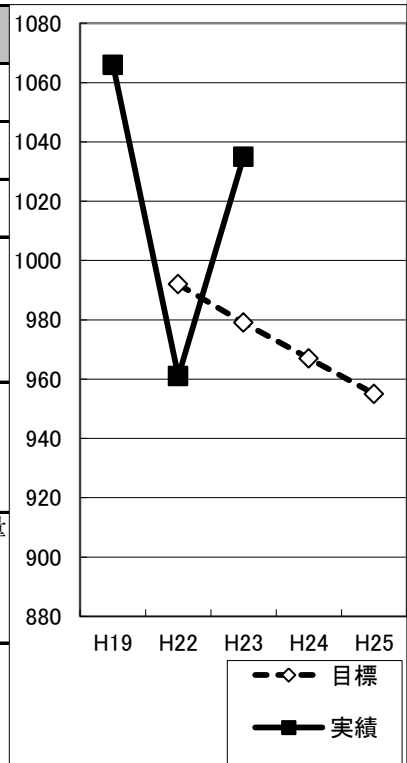
評価対象年度 平成24年度

政策 11 施策 28

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量(g/人・日) [フロー型]	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25	
		目標値	-	992	979	967	955	
		実績値	1,066	961	1,035	-	-	
宮城県循環型社会形成推進計画	達成率	-	141.9%	35.6%	-	-		

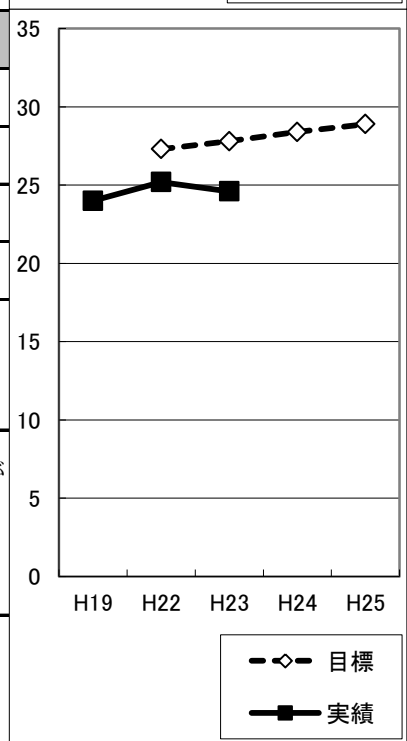


目標値の設定根拠
 ・平成18年3月(平成23年3月中間見直し済)に策定した「宮城県循環型社会形成推進計画」の平成27年度目標に掲げた目標値930g/人・日を根拠とした。

実績値の分析
 ・平成23年度は東日本大震災の影響により、災害廃棄物以外の廃棄物の排出量も大幅に増加したと思われる。
 ・H20, H21, H22, H23年度の実績値は、それぞれ、1,017,981,961,1,035g/人・日であり、H23年度は、震災の影響を大きく受けている。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ・H20, H21, H22, H23年度の全国平均値は、1,033,994,976,975g/人・日であり全国平均値よりも10g/人・日程度排出量が少なかったが、平成23年度は、震災の影響により排出量が全国平均を大幅に超えた。

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	一般廃棄物リサイクル率(%) [フロー型]	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25	
		目標値	-	27.3	27.8	28.4	28.9	
		実績値	24.0	25.2	24.6	-	-	
宮城県循環型社会形成推進計画	達成率	-	92.3%	88.5%	-	-		



目標値の設定根拠
 ・平成18年3月(平成23年3月中間見直し済)に策定した「宮城県循環型社会形成推進計画」の平成27年度目標に掲げた目標値30%を根拠とした。

実績値の分析
 ・平成23年度は東日本大震災の影響により、災害廃棄物以外の廃棄物の排出量が増加したが、リサイクル量も増加した。また、民間事業者によるリサイクル量がやや減少したことからサイクル率は減少した。
 ・H20, H21, H22, H23年度の実績値は、それぞれ、26.2,26.2,25.2,24.3%であり、平成23年度は、震災の影響によりリサイクル率は前年度よりやや減少した。
 ※宮城県のリサイクル率は、民間事業者によるリサイクル量を含む。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ・H20, H21, H22, H23年度の全国平均値は、20.3,20.5,20.8,20.4%となっている。
 ※全国平均は、民間業者によるリサイクル量は含まない。

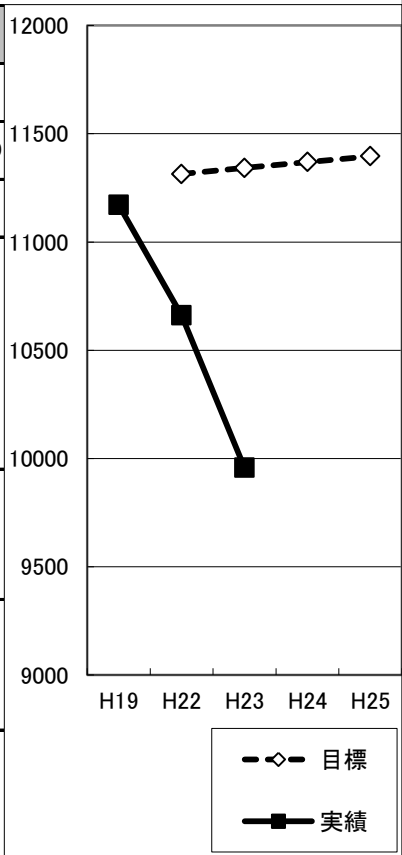
評価対象年度 平成24年度

政策 11 施策 28

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	産業廃棄物排出量(千トン) [フロー型]	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25	
		目標値	-	11,314.0	11,342.0	11,369.0	11,396.0	
	【目標値を下回ることを目標とする指標のため、達成率は次式により算定:(初期値-実績値)/(初期値-目標値) ※計算結果が異常値を示す場合は、100%以上又は100%未満と記載】 宮城県循環型社会形成推進計画	実績値		11,172.0	10,661.0	9,958.0	-	-
達成率			-	100%以上	100%以上	-	-	

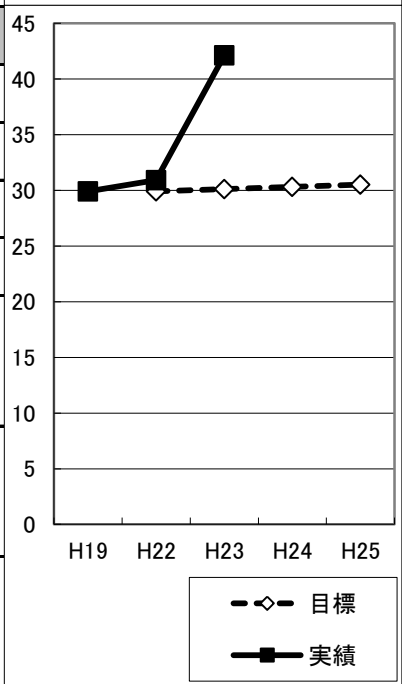


目標値の設定根拠
平成18年3月(平成23年3月中間見直し済)に策定した「宮城県循環型社会形成推進計画」の平成27年度目標に掲げた目標値11,450千トン年を根拠とした。

実績値の分析
H20,H21,H22,H23年度の宮城県の状況は、11,260千トン、10,851千トン、10,661千トン、9,958千トンとなっており、目標値を満足している。
平成23年度の産業廃棄物排出量は、排出量の多い汚泥を排出する事業所が、震災により被災したことから前年度を大幅に下回る結果となった。

全国平均値や近隣他県等との比較
H19,H20,H21,H22の全国の状況は419,430千トン、403,660千トン、389,750千トン、385,990千トンとなっている。

4	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	産業廃棄物リサイクル率(%) [フロー型]	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25	
		目標値	-	29.9	30.1	30.3	30.5	
	宮城県循環型社会形成推進計画	実績値		29.9	30.9	42.1	-	-
達成率			-	103.3%	139.9%	-	-	



目標値の設定根拠
平成18年3月(平成23年3月中間見直し済)に策定した「宮城県循環型社会形成推進計画」の平成27年度目標に掲げた目標値31%を根拠とした。

実績値の分析
H20,H21,H22, H23の状況は、29.4%,30.1%,30.9%,42.1%である。
平成23年度は、震災によりリサイクルに不向きな汚泥を多量に排出する事業所が被災したことから、リサイクル率が上昇したものと思われる。

全国平均値や近隣他県等との比較
H19,H20,H21,H22の全国の状況は52%,54%,53%,53%となっている。

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	11	施策	28
----	----	----	----

宮城の将来ビジョン推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
				事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
		事業主体等	特記事項	事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
1	1	市町村3R連携事業	非予算的手法	事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
				市町村への助言や、情報共有・検討の場としてワークショップ、地域3R連絡会議等を開催し、市町村の3R施策の充実に向けて支援する。		・「ごみ処理有料化の推進について」というテーマで、ワークショップを実施した。					
		環境生活部		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		循環型社会推進課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	-	維持	-	-	-	-
2	2	循環通信の発行	非予算的手法	事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
				県内外の3R推進施策や事業者、NPOの取組などを紹介するメールマガジンを発行する。		・毎月発行した。 ・配信者数は約370人。					
		環境生活部		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		循環型社会推進課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	-	維持	-	-	-	-
3	4	みやぎ産業廃棄物3R等推進設備整備事業	198,861	事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
				事業者が行う原材料の投入抑制や産業廃棄物の発生抑制・再資源化等に係る設備・機器等の整備を支援する。		・18件の事業申請があり、審査の結果全て指定した。 ・指定事業のうち、13件の補助金交付を決定した(5件の取り下げあり)。					
		環境生活部		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		環境政策課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	18,495	84,105	198,861	-
4	5	再生資源等有効活用推進事業	589	事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
				有効に利活用されていない産業廃棄物を利用したリユースシステムの構築やリサイクル製品の事業化に向けた取組を支援する。		・2件の事業申請があり、2件とも補助金の交付を決定した。					
		環境生活部		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		環境政策課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	923	-	589	-
5	6	3R新技術研究開発支援事業	13,180	事業概要		平成24年度の実施状況・成果					
				技術的な課題により再資源化等が困難又は進んでいない廃棄物に関する再資源化等のための新技術研究・開発を推進する。		・6件の事業申請があり、審査の結果5件を認定した。 ・認定した全ての事業について、補助金交付の決定をした。					
		環境生活部		事業の分析結果		年度別決算(見込)額(千円)					
		環境政策課		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	33,303	16,444	13,180	-

6	7	資源循環コーディネーター派遣事業	21,970	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				3R推進の仕組みづくり等を支援するため、資源循環コーディネーターを派遣し、地域や企業の各々の実態に応じたりサイクルシステムづくりを進める。				・企業の支援活動として、延べ498社に訪問し新たなエコフォーラムを立ち上げるなど111件の支援を行った。 ・また、補助事業に関し延べ105件の支援を行った。			
環境生活部	環境政策課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
				妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	21,071	13,746	21,970	-
7	8	業種別エコフォーラムの展開	非予算的手法	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				県内事業者への3Rへの取組を支援するため、業種ごとの3R推進組織(業種別エコフォーラム)構築等を支援する。				・BDF(バイオディーゼル燃料)連絡協議会が発足した。 ・休止中であった建設エコフォーラムの再開などに支援を行った。 ・県内2地域のエコフォーラムの立ち上げを支援した。			
環境生活部	循環型社会推進課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
				妥当	ある程度成果があった	-	維持	-	-	-	-
8	9	産業廃棄物処理システム健全化促進事業	1,994	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				健全な産業廃棄物処理体制の普及促進に向け、適正処理の推進に積極的に取り組む処理業者との協定締結や廃棄物処理過程の透明性向上に向けたシステム検討などを進める。				・産業廃棄物処理業者の処理実績報告の集計業務 → 1,586事業者(延数) ・電子マニフェスト講習会の実施 ・協定の締結等は、震災の影響等により見送りなどを進める。			
環境生活部	循環型社会推進課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
				妥当	ある程度成果があった	効率的	拡充	-	1,641	1,994	-
9	10	産業廃棄物不法投棄監視強化事業	4,274	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				産業廃棄物の不法投棄等の早期把握、拡大防止のための監視強化や不法投棄防止に向けた広報活動を実施する。				・ラジオ広告、スカイパトロール、最終処分場等の航空撮影等を実施し、不法投棄の早期把握、防止に向けた啓発活動を行った。			
環境生活部	循環型社会推進課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
				妥当	ある程度成果があった	効率的	拡充	-	239	4,274	-
決算(見込)額計			240,868								
決算(見込)額計(再掲分除き)			240,868								

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	11	施策	28
----	----	----	----

取組に関連する宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度決算見込額(千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
1	1	災害等廃棄物処理事業	114,372,082	震災で発生した膨大な量の災害廃棄物の処理について、被災した市町から地方自治法に基づき事務を受託し、災害廃棄物を迅速かつ適正に処理する。				・県内4ブロック・8処理区について、プロポーザル方式による業務委託契約が全て完了し、全26基の焼却炉が本格稼働した。			
		環境生活部 震災廃棄物対策課	震災復興1②①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	44,020,227	114,372,082	-	
2	2	被災自動車処理事業	164,417	震災により発生した被災自動車の処理について、被災した5市町から地方自治法に基づき事務所を受託し、被災自動車の収集・運搬、所有者確認・連絡及び売り払いを実施する。				・前年度からの事務を受け継ぎ、市町から受託した9,079台の被災自動車について、所有者へ引渡し(457台)及び売り払い(8,622台)を実施し、全車両処理が完了した。			
		環境生活部 循環型社会推進課	震災復興1②①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	廃止	-	145,712	164,417	-	
3	6	みやぎの漁場再生事業	1,314,421	県内の漁場を5ブロックに分け、起重機船等を用い、津波により漁場に堆積したがれき等を撤去した。				・県内の漁場を5ブロックに分け、起重機船を用い、東日本大震災により漁場へ流出したがれき撤去を養殖漁場を中心に実施。 ・約16,000m ³ のがれきを撤去			
		農林水産部 水産業基盤整備課	震災復興1②①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	2,638,672	1,314,421	-	
4	7	廃棄物処理施設災害復旧事業	-	震災で被害を受けた一般廃棄物処理施設及び市町村設置型浄化槽の復旧を図るため、国庫補助金交付制度を有効に活用できるように市町村に対し支援する。				・被災市町村等からの国庫補助申請の受付及び国への進達。 ・一般廃棄物処理施設 7市町村等、23施設 ・市町村管理型浄化槽 10市町村			
		環境生活部 震災廃棄物対策課	震災復興1②①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	-	廃止	-	-	-	-	
5	11	漁船漁業構造改革促進支援事業	100,689	津波により陸上に打ち上げられた船舶を災害廃棄物として処理するため、所有者を特定し処分意思を確認するとともに、運搬可能な大きさまで解体し、集積場まで運搬する。				・県内5市3町(気仙沼市、石巻市、東松島市、塩釜市、名取市、南三陸町、女川町、七ヶ浜町)からの委託を受け、2か年で計1,807隻の陸揚漁船を一次仮置き場まで運搬した。			
		農林水産部 水産業振興課	震災復興4③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	廃止	-	46,311	100,689	-	
決算(見込)額計			115,951,609								
決算(見込)額計(再掲除き)			115,951,609								

